

# サービスマーケティング

期末プレゼンテーション

アリッサパウエル・ジェレミールイズ・オルソン 奈美





# SLOs



自己及び  
社会的認識



奉仕と  
社会的責任  
(パート1)



奉仕と  
社会的責任  
(パート2)



システムの改善  
に向けた  
活動



# SLO 1: 自己及び社会的認識

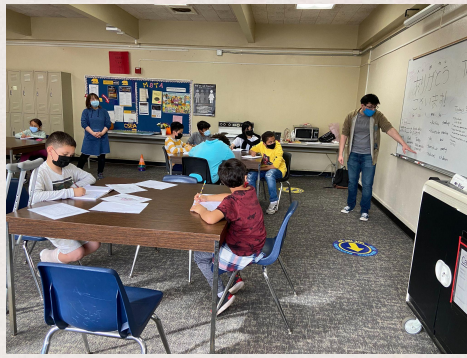
## 学んだこと

- ◆ サービスラーニングから私たちが一番初めに取った方法は包括的である方法だ
  - 私たちはすべての生徒に注意を向けるために教室の中を歩き回った
  - 生徒たちがたくさんのグループワークをしてもらった
  - 生徒たちが自分の学用品を持参する必要がなかった
- ◆ 生徒自身の文化を授業に統合する方法
  - 日本語とスペイン語の言葉を比べてみた
  - ローカリゼーションのレッスン: 日本のメディアとアメリカのメディアと比べた
    - 生徒たちは具体的な日米の違いを理解したので生徒の視野を広げた

## 今後どのようにすべきか

生徒と個別に協力し、生徒がお互いに協力してもらうことで、より平等で親切な環境を作りたいと思っている









# SLO 2: 奉仕と社会的責任(1)



## 学んだこと

コミュニティ・スキャン・プロジェクトを通して、シーサイド地域の問題点(住宅事情)を知った。

→ 家庭環境や教育問題にも間接的に繋がっている

\* CPYでのサービラーニングを通して、生徒達は第二外国語を勉強したいという意欲があることに気づく。

\* CPYのようなアフタースクールプログラムに於いて、日本語の勉強を皆が平等に受けられるのではないかと思った。

## 今後どのようにすべきか

家庭やコミュニティ環境の違いや制限に関わらず、生徒全員が平等に学ぶ機会を与えられるべきだ。

## 参考資料

Kip A. Cates

*Teaching for a Better World: Global Issues and Language Education*

「教育者は、平和、正義、そして世界平和問題への積極的な関心を促進する独特な責任があることを認識している」(p.43)





# SLO 3: 奉仕と社会的責任(2)

## 学んだこと

\* 私達のグループは、サービスマーケティングのレッスンでグローバルコンピテンシーの促進を支援したいと考えている

→ 飢餓ゼロのSDGと世界平和に関するレッスンを作ることで実現した。

\* 生徒達の日本文化の興味を通して、私達は生徒に、皆のユニークな背景と多様性を受け入れることについての貴重なレッスンを教えることができる。

\* 教師は生徒に大きな影響を与えることを私達は知っている、私達がすべての人を平等に扱うならば、生徒はまたすべての人を平等に扱うことを学ぶだろう。

## 今後どのようにすべきか

\* 生徒は非常に賢く、学びたいと思っているので、地球規模の問題について生徒を教育することが重要だと思う。

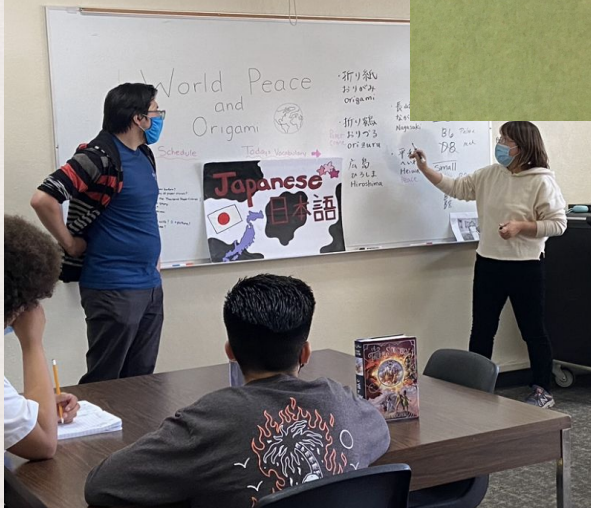
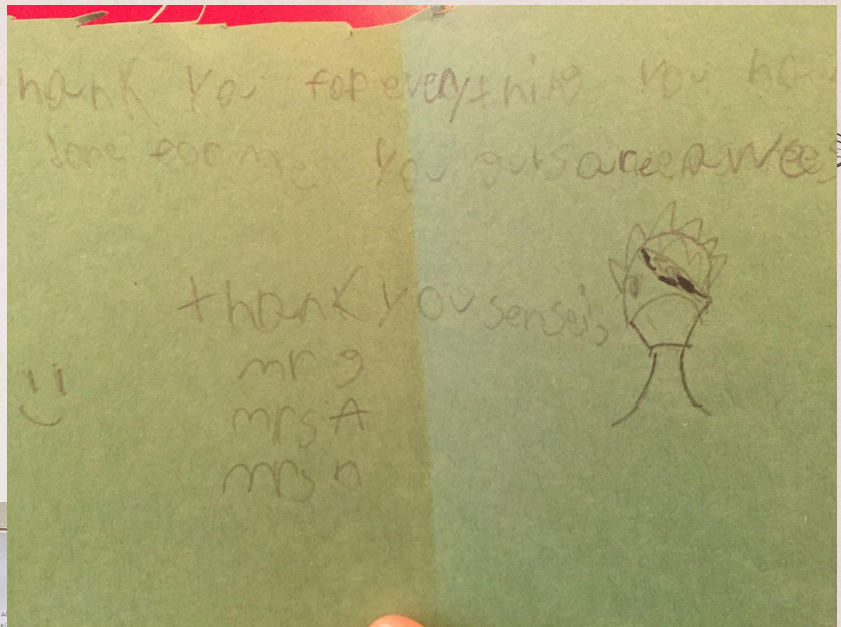
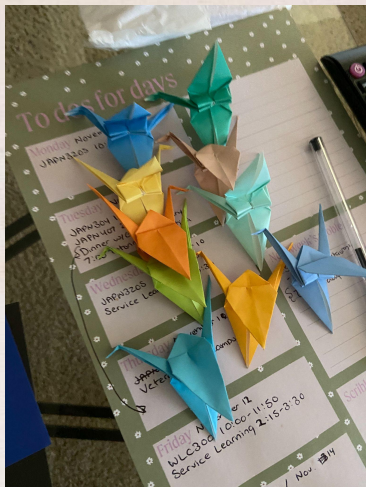
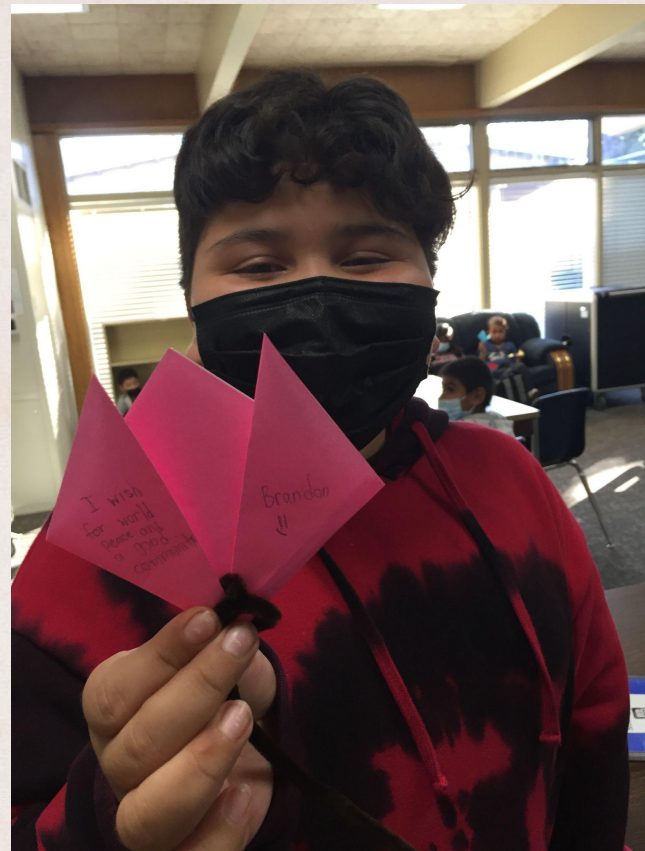
## 参考資料

Illich, Ivan. To Hell With Good Intentions. National Society for Internships and Experiential Education, 314-320.

Remen. Helping, Fixing or Serving

Sigmon, Robert L. (1995). Sit down, Be quiet, Pay Attention. NSEE Quarterly, 31.

\* 私達はこの読み物でコミュニティにサービスを提供する正しい方法を学ぶ。





# SLO 4: システムの改善に向けた活動

## 改善したい点

\* 初等・中等教育における第二外国語の習得

## 理由

→ 現在、初等・中等教育における第二外国語の授業が行われている学校はとても少なく、子供達が CPY のようなプログラムで第二外国語を学べる機会が増えると良いのではないかと考えた。

→ 私達が日本語レッスンを始める時、定員以上の子供達が参加を希望していた。子供達は、第二外国語に非常に興味があることに気づいた。

## 目標

\* 私達の最終目標は、日本語レッスンを受けた子供達の親からの意見(声)を、校長先生に直接伝えることで、デルレイウッズ小学校、及びシーサイド地域に於いて、第二外国語の授業がより多く行われる事である。

## 手段

生徒達の親にアンケート調査を行い、そのデータを元に校長先生に直接お話をさせて頂く(12月1日、午後3時15分からの予定)



9. Any comments (feel free to use the back of this survey)

Thank you so much for coming out and teaching the kid Japanese. My son really enjoys it. He even skipped his other extracurricular activities so he wouldn't miss his Japanese class. He was always excited when Wednesdays & Fridays came along. He's amazing how much he has learned in such a short amount of time.

Thanks Again!

子供達に日本語を教えに来て下さってありがとうございます。私の息子は日本語クラスをととても楽しんでいました。息子は日本語クラスを欠席したくなくて、習い事のスケジュールを変えたほどでした。毎週水曜日と金曜日に来るのをとても楽しみに過ごしていました。この短期間のうちに、息子が非常に多くのことを学んだ事にととても驚いております。本当にありがとう！

生徒さんの親からのコメント。





## 学んだ事

アリッサ:このサービスラーニングを通して、教師になるということは日本語と日本の文化を教えるだけではなく生徒と感情的につながりを作る事や深いレベルで理解する事でもある事を学んだ。人種、言語、その他の要素がこのサービスラーニングにどのように影響するかを学ぶことは日本語教師としての私の未来の興味にとって非常に有益だ。

ジェレミー:サービスラーニングクラスでの課題を読んだり話し合いしたことは、疎外された人々と社会正義の問題を私に教えてくれた。私達のグループとして働き、素晴らしいレスンプランを作る方法を学んだ。私は素晴らしい教師になるために必要な多くの技術について学んだ。また、小学生が言語のような難しいことを学ぶ意欲についてもたくさん学んだ。

奈美:教育というのは、全ての人に平等に与えられるべきものであり、環境や人種、性別などで区別されるべきではない。第二外国語の授業を増やし、地球規模の市民を育てるためには、第二外国語習得は非常に効果的だと考える。何かを変えるためには、よく考え、行動する事がとても大切だ。





ご清聴ありがとうございました





## 個人の感想(?)



奈美:日本語の授業中は、生徒全員に対して平等に目を向けるようにした。例えば、私達全員が常に教室の前に立っているのではなく、立つ位置を意識的に変えたりすることで、生徒全員が日本語を学ぶ機会を平等に持てるようにした。





奈美: コミュニティー・スキャン・プロジェクトを通し、教育には環境が大きく関わっていることに気づいた。家庭環境、コミュニティの環境により、生徒達の可能性を制限すべきでなく、疎外感を無くすことがとても重要である。そのような点に於いて、私達(教育者)の責任は重く、また、CPYは素晴らしいプログラムだと感じた。